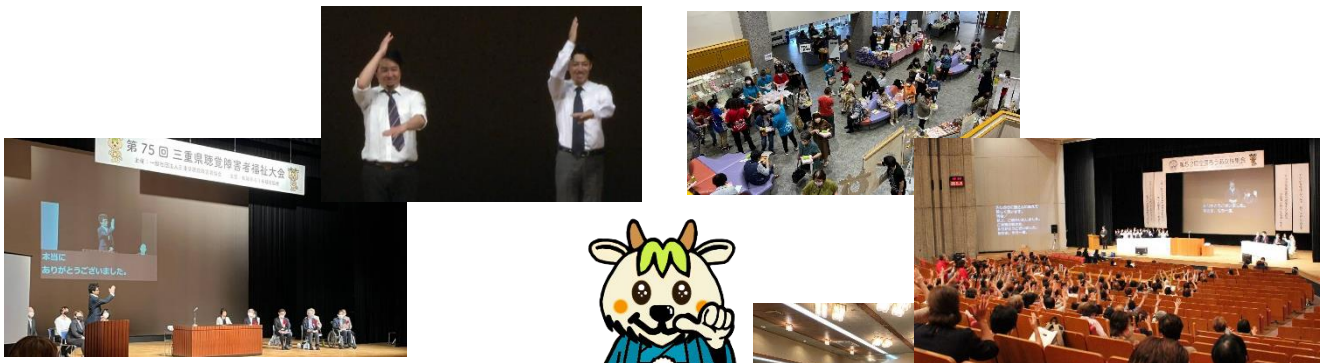


一般社団法人 三重県聴覚障害者協会



↑2022年5月22日(日)〈松阪〉
第75回三重県聴覚障害者福祉大会



↑2022年9月30日(金)~10月2日(日)
第52回全国ろうあ女性集会 inMIE 〈伊勢〉



↑2022年11月20日(日)~21日(月)
「1泊2日旅行」〈焼津温泉と日本平〉



↑2023年2月5日(日)
手話フェスティバル in おわせ

わたしたち三重県聴覚障害者協会は聴覚障害者に豊かな知識と正確な情報の提供を行うとともに、会員相互および一般社会との連帯を深め、聴覚障害者の社会参加を円滑に進めることを目的とし、1947年(昭和22年)1月3日に結成しました。1991年(平成3年)4月1日には三重県知事が社団法人として認可、2014年(平成26年)4月1日に一般社団法人に移行した聴覚障害当事者の法人団体です。ろう者と支援者がお互いに助け合って仲間を広げ、結成以来75年にわたって聴覚障害者の社会参加と平等のために運動を続け、さまざまな権利を勝ち取ってきました。2012年4月1日には長年の運動が実り、聴覚障害者情報提供施設である三重県聴覚障害者支援センターが津市に設置され、当協会がその指定管理者となり、更なる聴覚障害者の福祉向上に取り組んでいます。

三重県手話言語条例は、聴覚障がいの有無にかかわらず県民が相互に人格と個性を尊重し、安全かつ安心して暮らすことのできる共生社会の実現を図るために議員提案条例として2016年6月30日に制定され、翌年4月1日に施行しました。2021年3月には「遠隔手話通訳サービス事業」がスタート、2022年1月には手話通訳者を付けた運転免許更新講習「特定任意講習」を開催。2022年9月30日からの3日間には、第52回全国ろうあ女性集会在伊勢市で開催され、3年ぶりの全国女性部イベントに38都道府県から441名の参加者が集いました。

依然、様々な壁がありますが、これからも関係団体の皆さまとともに決して諦めず立ち向かって活動していきたいと思えます。今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



<2023年度 三重県聴覚障害者協会の運動方針>



- 1. 権利**
 - ①県内各市町の手話言語条例制定を積極的に支援
 - ②差別解消や合理的配慮がなされる社会づくりに向けて、聴覚障害問題への理解促進
 - ③「手話マーク・筆談マーク」の普及、自由にコミュニケーションを取りあえる社会の実現
- 2. 手話言語**
 - ①三重県手話言語条例で求められる施策の完全実行
 - ②手話通訳者・要約筆記者・手話奉仕員・盲ろう者通訳介助者の養成や派遣など、意思疎通支援事業の周知と拡大
 - ③手話通訳者・奉仕員養成の担当講師の指導力や教授法の向上を図るために育成の強化
 - ④聴覚障害問題や手話などに関わる出版物の販売促進
- 3. 生活**
 - ①ろう者の就労環境の向上、ろう教育の充実を求め福祉や労働・教育問題に取り組む
 - ②アイ・ドラゴン4等の日常生活用具給付の拡大
 - ③ろう児・高齢ろう者の豊かな文化的生活の支援
 - ④三重県聴覚障害者支援センターの運営管理及び発展
 - ⑤災害時に被災ろう者への支援を行える体制を確立
- 4. 仲間**
 - ①会員拡大（会員285名、賛助会員125名）への取り組みと、会員及び賛助会員へのサービスや支援の提供
 - ②ろう者文化祭と手話フェスティバルの継続・発展
 - ③文化活動やスポーツ活動の奨励
 - ④日聴紙やみえデフNEWS、季刊MIMIの購読者拡大、ホームページの閲覧者増加
 - ⑤きこえない子どもや選手たちへ夢を与えられるようデフスポーツ・サポーターを拡大
 - ⑥三重通研・県サ連・三重難聴・全要研三重支部・三重要連との連携
 - ⑦第9回東海高齢部グラウンドゴルフ交流会・第49回東海デフ・ヤングフォーラム2023の開催成功



<事業内容>

- 一般事業**・・・会員への情報発信、機関紙の発行事業、各種行事の開催（福祉大会、手話フェスティバル、スポーツ大会、ろう者文化祭、学習会など）
- 出版事業**・・・手話に関する書籍、DVD、ビデオやろう運動に関する書籍の販売
- 委託事業**・・・障害者スポーツ大会選手育成強化事業
- 指定管理者委託事業**・・・三重県聴覚障害者支援センター
- その他**・・・専門部（体育・青年・女性・高齢）事業、共同委員会・小委員会活動など



<当協会が発行する書籍等>

- みえの手話DVDセット 1,000円
- 龍翔（当協会結成50周年記念誌）1,200円
- 手話カレンダー 300円 ※収益の一部を聴覚障害児・高齢聴覚障害者支援活動、2029年全国ろうあ者体育大会 in みえ開催資金に充てています。
- 手話トイレトペーパー 1個300円/2個セット500円→2029年全国ろうあ者体育大会 in みえ開催資金に充てる

<沿革>

- | | | |
|--------------|-----|------------------------------------|
| 1947年（昭和22年） | 1月 | 当協会の前身となる「三重ローア倶楽部」結成 |
| 1948年（昭和23年） | 1月 | 当協会機関誌「三重ローア會報」創刊 |
| 1948年（昭和23年） | 1月 | 全日本ろうあ連盟と近畿ろうあ連盟に正式加盟 |
| 1958年（昭和33年） | 3月 | 近畿ろうあ連盟を脱退し東海ろうあ連盟に加盟 |
| 1978年（昭和53年） | 11月 | 鈴鹿市で「全国ろうあ婦人集会」初開催 |
| 1980年（昭和55年） | 7月 | 伊勢市で「第1回手話劇コンクール」開催 |
| 1986年（昭和61年） | 11月 | 鈴鹿市で「全国ろうあ青年研究討論会」初開催 |
| 1989年（平成元年） | 9月 | 伊勢市で「全国ろうあ者体育大会」初開催 |
| 1989年（平成元年） | 10月 | 三聴障新聞が第三種郵便物に認可 |
| 1991年（平成3年） | 4月 | 念願の法人化、「社団法人三重県聴覚障害者協会」に改称 |
| 1994年（平成6年） | 6月 | 四日市市で「全国ろうあ者大会」初開催 |
| 1996年（平成8年） | 8月 | 鈴鹿市で「全国手話通訳問題研究集会」初開催 |
| 2008年（平成20年） | 2月 | 津市で「全国手話通訳問題研究討論会」初開催 |
| 2012年（平成24年） | 4月 | 三重県聴覚障害者支援センター設置 |
| 2014年（平成26年） | 4月 | 「一般社団法人三重県聴覚障害者協会」に移行 |
| 2015年（平成27年） | 8月 | 鈴鹿市で「全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラムinみえ～」開催 |
| 2016年（平成28年） | 6月 | 「三重県手話言語条例」が東海で初めて成立 |
| 2017年（平成29年） | 4月 | 「三重県手話言語条例」が施行 |
| 2021年（令和3年） | 3月 | 「遠隔手話通訳サービス」事業が実施 |
| 2022年（令和4年） | 1月 | 手話通訳者を付けた運転免許更新講習「特定任意講習」が開催 |
| 2022年（令和5年） | 4月 | 当協会ホームページ開設 |
| 2022年（令和5年） | 9月 | 第52回全国ろうあ女性集会inMIEが伊勢市で開催 |



<傘下協会・会長・会員数>

2023年3月20日現在

団体名称	会長名	会員数	賛助会員	団体名称	会長名	会員数	賛助会員
いなべ聴覚障害者福祉協会	伊藤 作夫	17名	7名	伊勢市聴覚障害者福祉協会	大屋真理子	28名	26名
桑名市聴覚障害者協会	上村かおり	16名	5名	伊賀市聴覚障害者協会		2名	6名
四日市市ろうあ福祉会	山本 喜秀	62名	15名	名張市聴覚障害者協会	南 恵美子	7名	3名
鈴鹿市聴覚障害者協会	中澤 英明	56名	17名	紀南聴覚障害者福祉協会	塩崎 美紀	3名	1名
津市聴覚障害者福祉協会	吉田 保則	49名	22名	事務局		3名	5名
松阪市ろうあ福祉協会	深川 誠子	32名	7名	※2022年度 合計		276名	114名

<関係団体>



- ◇三重県難聴・中途失聴者協会・・・難聴・中途失聴者の福祉の向上と親睦を図る
- ◇三重盲ろう者きらりの会・・・盲ろう者の自立と社会参加の促進、また盲ろう者に深い理解を持つ社会を作ることとする
- ◇三重県手話通訳問題研究会・・・手話および手話を通じて聴覚障害者に関する諸問題を学び、手話通訳保障を確立し聴覚障害者の生活と権利を守る
- ◇三重県手話サークル連絡協議会・・・県内各手話サークルの交流と質的向上をめざすとともに、聴覚障害者の生活と権利を守る
- ◇特定非営利活動法人
全国要約筆記問題研究会三重県支部 } ・情報保障としての要約筆記に関する問題を研究し要約筆記関係者の要請に応えていく
- ◇三重県要約筆記サークル連絡協議会・・・県内の要約筆記サークルの交流と聴覚障害者に関する諸問題を学び、要約筆記による情報保障について研究し向上をめざす

<三重県の情報保障者の現勢>

三重県登録手話通訳者 116名 (このうち厚生労働大臣公認手話通訳士 42名)
 三重県登録要約筆者 62名 ※数値は全て2023年3月20日現在

2022年度のトピックス



■協会ホームページ開設と、第52回全国ろうあ女性集会 inMIE開催!!

特に変化があったのは、当協会のホームページ開設と、第52回全国ろうあ女性集会の三重での開催。コロナ感染症流行中の現在、これまで以上に情報発信の必要性を感じ、当協会の顔としてホームページを開設しました。今後も更に改善を加えていきたいと思っています。

9月30日(金)～10月2日(日)三重県伊勢市のシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢にて「第52回全国ろうあ女性集会inMIE」が開催され、3年ぶりの全国女性部イベントに、各都道府県から約440名の参加者が集いました。天候がとても心配でしたが、まぶしいくらいの快晴で、当協会の女性たちのパワーで無事終了することができました。



■当会の2022年度事業の活動、歴史と伝統を受け継いでいく!!



当協会の会員数は276名、賛助会員は113名(3月20日現在)となりました。コロナ拡大防止に注意をしながらほとんどの行事を対面で開催しました。書籍の情報や行事のお知らせ、行事の実施報告などは機関紙や動画やブログで提供できるように工夫しました。また、昨年度から毎週金曜日に会員たちやサークル会員向けに配信してきましたYou Tube動画は事務局の仕事が多忙になり、月2回配信に変更しました。



感染拡大に伴う外出自粛が長期化し、自宅で過ごす聴覚障害者には情報が十分届かず、人との交流が少なくなりストレスを感じている会員も多いと思います。手話で話せないことで、孤立を感じます。手話のできる(使える)人と出合って手話で会話ができることは、私達のコミュニケーションの基本で嬉しいことでしょう。またマスク越しのコミュニケーションは表情が読み取りづらく、感情が伝わりにくいこともあり、相手が分かるように工夫する必要があります。一堂に会することが難しい状況の中、Zoom(ズーム)やSkype(スカイプ)などのリモートや、テレビ電話を使う機会が増え、会員の生活・活動の一助となっています。



私たちがこれからも暮らしていくためには、新しい生活様式への変換と一人一人の行動が重要です。これを機に市民一人ひとりが不便を認め合い、安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指していけたらと思っています。

このような状況の中ですが、5月14日(土)体育部「全障スポ大会バレー予選会」(新潟県)、5月22日(日)「第75回三重県聴覚障害者福祉大会」(松阪)、6月5日(日)体育部「スポーツ交流会2022」(津)、6月11日(土)～12日(日)の2日間「第70回全国ろうあ者大会inひろしま」で大会のブースにて三重から全国女性集会のグッズと手話トイレ紙ペーパーなどの販売促進、7月1日(金)高齢部「茶話会&講演会」(津)、7月17日(日)体育部「ボウリング交流会」(鈴鹿)、9月3日(日)文化事業部「単発事業～国際手話を学んで～」(津)、9月7日(水)高齢部「敬老会&茶話会」(津)、10月8日(土)体育部「全障スポ大会代替陸上競技」(伊勢)、11月6日(日)三重通研合同企画「三重県手話通訳問題研究討論集会」(伊賀)、11月13日(日)文化事業部「第19回三重ろう者文化祭」(津)、11月20日(日)～21日(月)旅行企画「1泊2日旅行」(焼津と日本平)、1月8日(日)社会福祉部「福祉フォーラム」(津)、2月5日(日)「手話フェスティバル」(尾鷲)が順調に実施できました。

全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画『咲む』については4月3日(日)津市久居総合福祉会館ホール、11月20日(日)紀宝町生涯学習センターまなびの郷、2023年3月4日(土)松阪市産業振興センター、3月18日(土)志摩市磯部生涯学習センターで開催しました。三重県手話サークル連絡協議会との合同企画は今年3月5日(日)のセンターまつりで手話言語クイズを実施しました。

新年度は会員の高齢化に対して10年先を見据えつつ、更なる聴覚障害者の福祉向上に取り組んでいきたいと思っています。また、組織の理念を重んじ結成76年の歴史と伝統を受け継ぐとともに、経験を確実に後世に引き継ぐ事が必要ではないかと考えています。



<名誉職・理事・監事・諮問委員>

理事14名（会長・副会長・常務理事・事務局・経理部・組織部・コミ対策部・文化事業部・社会福祉部・体育部・青年部・女性部・高齢部）
 参与1名・相談役2名・監事2名・諮問委員29名（現2023/3/20）

<関係会議>

聴覚障害者制度改革推進三重県対策本部、聴覚障害者災害救援みえ本部、三団体会議、
 「咲む」みえ実行委員会、全国手話検定試験地域試験委員会、手話通訳問題研究討論集会

<共同委員会>

医療委員会、制度委員会、手話言語条例委員会

<小委員会>

コミュニケーション委員会、手話研究委員会、社会福祉委員会、文化事業委員会、編集委員会、
 予算決算委員会、「咲む」みえ上映会委員会、販売企画事業担当



種類	会費	項目	三聴障協会費	分担金	協会機関紙 ※別途徴収
正会員	16,000円	昭和34年4月2日以降生まれの方	12,000円	分担金合計 4,000円 会費より 全国や東海に 支払います <内訳> 全日ろう連 3,500円 東海聴連 500円	1,500円
夫婦会員	30,000円	昭和34年4月2日以降生まれの夫婦	22,000円		500円
高齢会員	12,500円	昭和34年4月1日以前生まれの方	8,500円		1,500円
特別会員①	7,000円	生活保護受給者 ※生活保護受給証明書が必要	3,000円		1,500円
特別会員②	11,000円	大学生、専門学校などに在籍している聴覚障害者。ただし、勤労学生を除く	7,000円		1,500円
特別会員③	7,000円	中、高等部に在籍している聴覚障害者	3,000円		1,500円

※いずれも一般財団法人全日本ろうあ連盟分担金**3,500円**と東海聴覚障害者連盟連分分担金**500円**を含む。
 ※みえデフNEWS年間購読料（正・特別会員**1,500円**、夫婦会員**500円**）は別途徴収します。
第三種郵便物の承認条件数事情により満たないため夫婦は2部配布しています。ご理解ください。

賛助会員 個人 5,000円

～特典～

- 1、運動方針・総括・決算会計報告書の送付、総会の傍聴
- 2、みえデフNEWSの送付（年間購読料1,500円を含む）
- 3、当協会主催行事の参加費特典（福祉大会、手話フェスティバル等）
- 4、厚生労働大臣認定手話通訳士試験の合格御祝金授与

賛助会員 団体・企業 15,000円

～特典～

- 1、みえデフNEWSの送付（年間購読料2,500円を含む）
- 2、当協会主催行事（福祉大会、手話フェスティバル等）ブース提供
- 3、当協会ホームページにリンクやバナーの掲載



<事務局就業時間帯・問い合わせ先>

〒514-0003 三重県津市桜橋2-131 三重県社会福祉会館5階
 平日 9:00~12:15 13:00~17:15
 ※土・日・祝 事務局が定める休局日は休業します。

FAX 059-223-4330
 TEL 059-229-8540
 E-mail deaf.mie@viola.ocn.ne.jp
 HP https://deafmie.com/
 ブログ http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/
 YouTube https://www.youtube.com/channel/UCzJle91pwl7WWquXqzylhvQ



【HP】



【ブログ】



【YouTube】



「三聴障協会費」「みえデフNEWS」「出版物」「手話カレンダー」などの振込

振込口座：株式会社百五銀行 津駅前支店 普通 151192
 口座名義：イッパンシャダンハウジン ミエケンチョウカクショウガイシャキョウカイ